

コールド、ウォーム、ホット・サイト定義

コールド・サイト

場所と関連する基盤(例：電源、通信、ITシステムをサポートするための環境の制御)のみ。但し、基盤は災害復旧 (DR) サービスが発動した際に導入が始まる。

ウォーム・サイト

いくつかの機器が部分的に設置されているサイト (例：コンピューターのハードウェアおよびソフトウェア、サポート要員など)
追加の機器、コンピューターのハードウェアおよびソフトウェア、サポート要員などは、災害復旧 (DR) サービスが発動した際に、ユーザーが導入を始める。

ホット・サイト

必要な機器、コンピューターのハードウェアおよびソフトウェア、サポート要員などが全て備えられたサイト。24時間365日オペレーター付きで稼働しており、災害復旧 (DR) サービスが発動した際に、ユーザーがそこでITシステムを運用できるようになっている。

Source: ISO/IEC 24762:2008